

令和2事業年度

決算報告書

国立大学法人佐賀大学

令和2年度決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	10,374	10,550	176	(注1)
うち補正予算による追加	—	6	6	
施設整備費補助金	1,258	1,324	66	(注2)
うち補正予算による追加	—	33	33	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	11	1,863	1,852	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	34	—	
自己収入	25,066	25,447	381	
授業料、入学金及び検定料収入	4,060	3,792	△268	(注4)
附属病院収入	20,511	21,354	843	(注5)
財産処分収入	19	—	△19	(注6)
雑収入	476	301	△175	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,005	1,800	△205	(注8)
引当金取崩	194	168	△26	(注9)
長期借入金収入	948	948	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	2,515	1,778	△737	
出資金	—	—	—	
計	42,405	43,912	1,507	
支出				
業務費	37,589	34,685	△2,904	(注10)
教育研究経費	13,972	12,611	△1,361	
診療経費	23,617	22,074	△1,543	
施設整備費	2,240	2,307	67	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	11	1,603	1,592	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,005	1,633	△372	(注13)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	551	542	△9	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	9	—	△9	(注14)
出資金	—	—	—	
計	42,405	40,770	△1,635	
収入－支出	—	3,142	3,142	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が176百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたため、予算額に比して決算額が66百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金が260百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。また、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたため、予算額に比して決算額が1,852百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料等減免費交付金相当額を控除したこと等により、予算額に比して決算額が268百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、診療単価の増加等により、予算額に比して決算額が843百万円多額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、売却予定の土地が売却できなかったため、予算額に比して決算額が19百万円少額となっています。
- (注7) 雑収入については、予算段階では使用予定としていた余剰金を使用しなかったこと等により、予算額に比して決算額が175百万円少額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として産学連携等研究収入の獲得が伸び悩んだことから予算額に比して決算額が205百万円少額となっています。
- (注9) 引当金取崩については、任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算額に比して決算額が26百万円少額となっています。
- (注10) 業務費については、業務実施にあたり経費節減に努めたこと等の理由により、予算額に比して決算額が2,904百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が67百万円多額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,592百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画を見直したとにより、予算額に比して決算額が372百万円少額となっています。なお、前年度からの繰越額による使用額は576百万円となっています。
- (注14) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が9百万円少額となっています。